

平成 30 年 10 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

10月の業種別景況の前月比DI値は14業種の内、好転が6業種、昨年同等が5業種、悪化が3業種となり、全体の景況感DI値も9月に比べ好転した。

一般機器では、取引先の定修工事などで売上が増加した、またサービス業では花博効果で宿泊客が増加したとの報告がある一方で、運輸業では燃料価格の値上がりから厳しくなっているとの報告があった。

山口県の中小企業は、原材料や燃料等のコスト上昇が続き、多くの業種で人手不足が問題となっている。

山口県の主要指標 DI 値（平成 30 年 10 月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 $(\langle \text{好転} \rangle - \langle \text{悪化} \rangle = \langle \text{DI 値} \rangle)$

前年同月比は、好転：7.5% 悪化：26.3% DI値：▲18.8% ポイント

売上高 $(\langle \text{増加} \rangle - \langle \text{減少} \rangle = \langle \text{DI 値} \rangle)$

前年同月比は、増加：17.5% 減少：31.3% DI値：▲13.8% ポイント


収益状況 $(\langle \text{好転} \rangle - \langle \text{悪化} \rangle = \langle \text{DI 値} \rangle)$

前年同月比は、好転：13.8% 悪化：27.5% DI値：▲13.7% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 30 年 10 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲28.6	▲50.0	▲33.3	▲50.0	▲33.3	33.3	0.0	▲15.1
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
0.0	▲44.4	▲75.0	0.0	▲20.0	0.0	▲100.0	▲21.3	▲18.8
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	消費税軽減税率に対する対応が遅れている。ポイント還元にはカード機器の導入ができていない組合員が大半であり、消費喚起効果があるのか疑問が残る。	パン・菓子製造業
	売上は、対前年同月比でほぼイーブン。競合施設の新規開業影響が弱まりマイナス幅が縮小し、ほぼ前年ペースに戻りつつあるが、土日祝はゆめ花博の影響もありやや弱含みで推移している。各店舗では販売員や調理師の求人難に苦慮している。欠員補充もできないギリギリの状態、サービスレベルの低下が心配される状況。	水産食料品製造業 萩市
	塩干珍味などの食材の動きが少ない。原材料の値上げがじわじわと影響している。8月、9月の週末ごとの台風等の影響で消費が伸びない。豪雨の影響で物資の配送に大きく問題が起こり、想定外の配送料の増加が起こった。JRは復旧したが、まだ物流に影響あり。	水産食料品製造業 下関市
	台風が襲来するなど、天候リスクが例年にくらべ高かった。地球温暖化による気候変動により、予測できないような事態が起こっている。また、周防大島では、断水による企業活動に影響が出るなど、豪雨対策を含め、これからは、本格的な検討が必要となる。また、二酸化炭素を排出しないような社会づくりが重要となる。	精穀・製粉業
繊維工業	10月31日にベトナム人外国人技能実習生が6名帰国し、現在57名。	下着類製造業
	国内店頭は販売不振だが、製造現場は受注引き合いが増加している。	外衣・シャツ製造業 山口市
	2019年春物の生産がスタートしたが、例年に比べスロースタートである。生地を生産が集中しているため、納期が遅れていることが原因と考えられる。今後はより一層の対応力が望まれる様に感じる。対応力の強化でメーカーからの引き合いも増え、仕事量の安定も期待できる。	外衣・シャツ製造業 萩市
	9月末から10月にかけてメーカーの在庫調整と生地仕上がりの状態が悪かったが、メーカーと日々連絡を取り合い、仕事量の確保を行っている。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	公共工事の製材がなくなり、急激に設備操業度が低下。	製材業・木製品製造業
印刷	需要期に入って、受注は増えている。折込チラシは増加しているが、パンフレット・書籍等の印刷は減少している。	印刷 下関市
	頁物印刷が減り、工場の操業度が依然低下傾向。	印刷 山口市

窯業・土石製品	<p>10月の出荷量は (平成29年10月) 骨材 135%、路盤材102%、再生材72% ↓ (平成30年10月) 骨材83%、路盤材136%、再生材104%</p>	砕石製造業
	<p>出荷量は、前月比112%、前年同月比92%、累計前年同月比92%、平成30年度は前年度比約87%と厳しい見通しとなっている。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン価格は安定しているが、値上げの動きがある。</p>	生コンクリート製造業
	<p>墓じまいが多くなり、持ち帰った墓石の処分をしなければならないが、現在持ち込んでいる処分場が平成30年末までとなった。それ以降については別の場所を確保したが、処分する価格が高くなる模様。平成に建てた墓石の撤去依頼も来ており、墓石を作るにも処分するにも費用が掛かり、消費税増税も含め、今以上に厳しくなりそうだ。</p>	石工品製造業
	<p>萩市内萩焼小売店の売上は、前年同月比で横ばい。ギフト・卸関係・百貨店の受注も弱含みながら昨年と変わらず。浅草アンテナショップの売上は、前年同月比で約20%ダウンとなっている。10月5日～8日まで萩・田町萩焼まつりが行われ、27社の窯元・商社が参加し、当組合からも2社が参加した。あいにく台風接近のため6日は中止となり、3日間の開催となった。</p>	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	<p>地元各化学メーカーの定修工事などの発注が多く繁忙期のため、売上は増加している。</p>	一般機械器具製造業 下松市
	<p>前月同様、景気は安定して推移している。全般的には変化なし。受注はあっても人手不足が著しく、外注に依存する度合いが高くなった。自動車関連は好調が続く。設備関係では県内では大型構造物が順調。国外は中国・東南アジアが年度内は順調。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	<p>機械検査、機械加工関係、食肉加工、惣菜、自動車関係等全ての職種で業績は好調。残業も多い。法律の遵守を指導。当組合は建設業の受入は断っているが、相談は多い。制度改正に伴う、3号移行者の入国も順調。拡大枠の利用についても順調で、今後とも増員の傾向にある。職種を問わず、大学卒の技能者の受入相談が増えてきている。介護の受入については、相談は多いが、引き続き慎重に対応しているところである。来年4月の新制度の創設について、多くの企業から問い合わせがある。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>前月より好転の傾向。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	<p>人手不足が続いている。</p>	船舶製造・修理業

	依然として車両は高操業率を維持するも、産業プラント、半導体部門は山は超え、様子見状態。全体としては横ばいの状況。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	相変わらずいりこが高値で品質もよくない。他の商品の在庫増で売上が増加。	乾物卸売業
	ヒラソ・ハマチなどの養殖魚やふぐなどすべての魚が値上がりしている。	生鮮・魚介卸売業
	急激に気温が下がり、冬物商品の売上が増加。燃料価格の高止まりが収益に影響。	各種商品卸売業
小売業	秋から冬にかけて化粧品切り替えの時期で、クリームなどの高額な商品が出始めると思われる。最近、各メーカーから専門店に対して、商品ブランドの廃止や専門店のみブランドをドラッグストアへ流出するなど、逆風が吹いている。組合として対策を考えていく予定。	化粧品小売業
	岩国市議会議員の一般選挙が行われ、市内は各陣営の選挙活動で埋め尽くされた。選挙が終わった翌週に第62回岩国祭が開催され、選挙に加えて祭の準備に追われた。これらが主な原因となって、小売商業（飲食・物販・サービス）はいずれも不振。また、9/30に駅隣接の大型スーパー「イズミ」が閉店、駅前本通商店街の大型パチンコ店と有名カフェが閉店するなど、目立つ閉店が相次いだ。岩国駅前ロータリーや広場改修工事の完成が景気回復の起爆剤になることを願う。	各種商品小売業 岩国市
	この3年間で店舗の減少がみられ、組合員数も減少している。大型店舗に押されて商店街への客足が少なくなり、売上にも雇用にも影響している。10月下旬から11月上旬にかけてイベントを開催するので、商店街の良さを感じてもらえることを期待。	各種商品小売業 山口市
	今月は中旬に「れとろまつり」、下旬に「長府時代祭り」が開催され、来街者数の増加には繋がっているが、買い物客数の増加には繋がっていない模様。日曜日に営業していない店舗数が多いというのも一因である。	各種商品小売業 下関市
	今月は、客数、売上とも前年割れの厳しい状況であった。ゆめ花博の影響もあるかと思う。	各種商品小売業 長門市
商店街	イベント開催日は客足が伸びるが、平日の客数は大幅に減少しており、それにつれて売上も減少している。燃料価格、野菜の高騰も影響している模様。	山口市
	年末の閉店が何店舗もある。状況の悪化に全く歯止めがかからない。	宇部市
	秋のイベントに期待していたが、魚まつりの延期により、萩焼まつりとの相乗効果を得られず、来場者が減少した模様。また、来年の消費税増が迫ってきており、市と方策について話し合いをしているが、厳しい状況。	萩市
サービス業	前半は、運動会や天気の不順でスロースタートだったが、後半はゆめ花博の賑わいや天候に恵まれ、例年通	美容業

	りの数字になった。	
	異常気象等で依然として景気回復の兆しがなく、売上が減少傾向。	理容業
	毎年9月、10月は、国交省主導で「自動車点検整備推進運動」が展開されており、これを受けて整備業界においても、県内13地区で一般ユーザーを対象に、自動車点検教室を実施している。この取組は、法律（道路運送車両法）において1年ごとに点検（乗用車等）をすることが義務付けられているものの、罰則規定がないことから実施率が5割から6割と低迷している中で、点検整備の必要性をアピールすることが目的で実施しており、今年は県内12会場（1会場は台風のため中止）で697名の参加があり大いに盛り上がった。このような小さな積み重ねが、将来の整備業界を支えていくことになることになると信じ頑張っている。	自動車整備業
	下関市内にフィットネスクラブが増え、競争が激しくなってきた。	スポーツ・健康教授業
	衣替え時期を迎えたが、例年よりも悪化の道をたどっている。最低賃金も上がり、資材の値上げも続いている中、利益確保と品質維持のために値上げに踏み切るところも多い模様。寒くなり始め、洗っていない冬物を着用前にクリーニングする消費者も多いが、今年はそこまで多くない。全体的な需要減は続いている。	普通洗濯業
	7月の豪雨、8～9月の猛暑や台風の影響で売上が悪化していたが、10月は前年と比較して団体保険、JR売上も増加した。トップシーズンの11月に期待したい。	旅行業
	宿泊者数、売上とも対前年同月比で110%の伸び。一因として「花博」の開催が考察される。	旅館業 山口市
	売上高の減少が続いている。重油価格等の上昇により、管理費が増加傾向にある。収益に大きく影響している。	旅館業 長門市
	前半は多少台風の影響等で伸びが悪かったが、休日が1日少なかった割には増収となった。	旅館業 下関市
建設業	中電への工事申請190件（当支部分127件）、前年同月129件（同107件）。太陽光発電への申請33件（前年27件）オール電化申請88件（前年67件）。LED街路灯への切り替え・新規申請33件（前年18件）であった。	電気工事業
	仕事量が例年より少なく期待はずれであった。2月までに工事を終えなくてはならないので、11月以降はあったとしても規模の小さい仕事になると思われる。燃油の高騰もあり、厳しい状況。	管工事業
	新築着工工事件数は持ち直してはいるが、屋根材の瓦の採用数は横ばいで、金属屋根材の採用数が増えている。相変わらず職人不足が続いており、業界の先行きの不安材料となっている。年末から年明けにかけて、	屋根工事業

	瓦、資材の値上げが予想されており、価格の改定等、収益の増加対策を本気で考えねばならない。	
	9月と同様、出来高としてはいまひとつであった。11月より新規の工事が始まるため、準備・打ち合わせで少し慌ただしくなってきた模様。また、年度末にかけての工事の注文が入って来だしたので、3月末までの工程表を作り、現場を割り振って施工能力を大きく超えないように調整しなければならない。地場の得意先からの工事物件は引き受けるが、新規の取引先としての仕事は、請け負えない状態だ。	内装工事業
	柳井地区においては西日本豪雨の災害工事の発注が見られるが、本工事の発注が遅れている模様。給与面の問題もあり、平常時の雇用が困難であり、技能職の不足が続いている。大島大橋の事故の影響で、大島地区の工事も心配。	土木工事業 柳井市
	今月も7月の豪雨災害の復旧工事で忙しかった。	土木工事業 周南市
	受注高は、対前年同月比102.5%。今年度の累計は、対前年比174.0%。	土木工事業 萩市
運輸業	輸送関係は、車両不足や水害等による出荷先工場等の受入不可のため、近距離輸送がやや減少。輸出関連は横ばい。鉄道不通のため、長距離輸送が目立ったが、ドライバー不足により車両が計画通りに集まらず、対前年同月比で0.7%の売上減少。油関係は2.7円の値上げ。中小零細運送業の経営は一段と厳しくなっている。引取税の引き下げを切望する声が聞かれる。	一般貨物自動車運送業 下松市
	輸送受注は、対前年同月比で約11%増加、順調に推移している。燃料費については対前年同月比で約26%の値上がり。	一般貨物自動車運送業 防府市
	売上、収益の前年超が続いている。値上げ交渉が功を奏しているためか、経費の増加幅をカバーできるだけの売上が確保できている。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	売上は、対前年同月比で9.8%の減少。毎月減少しているが、今月の減少は大きい。観光自体は上向きのようなのだが、タクシー利用につながっていない。	一般旅客自動車運送業 下関市
	タクシーチケットの取扱金額は、前年比+0.8%（平成30年9月1日～平成30年10月20日分）。9月1日～30日分は▲0.4%、10月1日～20日分は+0.6%。前年度が好調だった（+4.1%）ので、比較的堅調に推移している模様。9月分について当組合の取扱地区別に見ると、周南▲1.83%、下松+0.5%、光+4.2%、防府▲7.9%で、組合員の全域では▲2.1%、地区外（員外）+29.0%で、合計▲0.4%（▲73千円）。防府市地区が減少し続けているのは、当組合に加入していない新興のタクシー事業者が低運賃で営業しており、それが既存のタクシー	一般旅客自動車運送業 周南市

	<p>事業者（当組合員）の売上を減少させているためと推測される。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、CPが上がり（前月615.0\$/トンが今月645.0\$/トン、前年540.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油は（前月457.0\$/トンが今月468.0\$/トン、前年334.0\$/トン）。為替は円高（前月112.08円/\$が112.91円/\$）。燃料単価は前月よりさらに+2.5%増加。前年に比べると+11.0%と大幅に高騰しており、タクシー事業者の収益は大変厳しくなっている。タクシー乗務員は慢性的に不足し、高齢化もあって実働率が下がっているため、曜日や天候、時間帯によっては、配車が大幅に遅れるような状況が続いている。10月28日に大相撲周南場所が開催されるが、乗務員不足もあって輸送遅延が懸念される。夜の飲食関係は相変わらず低迷している。JR山陽本線の災害運休や大阪富田林の逃走犯人事件の報道などによる臨時輸送を含めての数字なので、継続的・安定的な回復とまでは言えない状況。</p>	
	<p>取扱高は、対前年同月比でほぼ同量。対前月比では、若干減少。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他非製造業</p>	<p>全国的に外国人技能実習生の受入が本格化してきた。当組合でも順次受入を行いたい。</p>	<p>介護事業</p>